

指定第2号 旧狩勝線新内トンネルのヒカリゴケ

種別及び名称	種別	記念物（天然記念物）
	名称	旧狩勝線新内トンネルのヒカリゴケ
指定年月日	平成24年12月21日	
所在地	北海道上川郡新得町字新内642番地	
指定の理由	<p>ヒカリゴケは、1科1属1種の蘚苔類で、2007年版環境省レッドリストにおいても準絶滅危惧種とされている原始的かつ貴重なコケ植物である。</p> <p>新得町のヒカリゴケは、昭和41年に新線への移行により廃線となった狩勝線新内トンネル内の入口付近に自生しており、北海道内ですでに確認されているものの中でも比較的規模が大きく、発光状態も大変良好である。</p>	
現状	<p>新内トンネルは明治37年に竣工され、昭和41年の廃線後は使用されていない。</p> <p>現在はトンネル内の天井部分が一部崩落しており、ヒカリゴケが自生する付近まで土砂が流入している。</p> <p>また、トンネル入口には、かねてから危険防止のための柵は設けてあったが、柵を越えて容易に立ち入ることができた。そのため、今回の指定に伴い、柵を高くし、外部からの人の侵入を断つことで、ヒカリゴケの保護と周辺環境の保全を図っている。</p>	
その他参考となる事項	<p>ヒカリゴケは、新内トンネルの新得側入口から8メートルほど入ったところにある地面の石に、約6～8平方メートルの範囲で自生している。</p>	